

## 今後の方針について

### 1 選択肢に対する市の見解

#### (1) 延期

- ア 多くの市民は、延期を望んでいない。
- イ 市民会館の老朽化が著しく、早急の対応が求められている。
- ウ 市民会館の改修には、多額の工事費を要する。
- エ 市民会館の改修後に芸術文化創造センターを整備すると、二重投資となる。

#### (2) 設計見直し

- ア 実施設計の見直しには限界があり、施工者の観点から E(技術提案) で仕様変更しても、予算内に収めることは出来ない。

#### (3) 分割工事

- ア 小ホールを除いた実施設計を生かすことが出来る。
- イ 一番早期に整備することが出来る可能性がある。
- ウ 予算内に収まるかは断言できず、再び入札が不調となる可能性がある。
- エ 後年、小ホールを整備すれば、さらに建設費がかかる。
- オ 高い利用率が見込まれる小ホールを整備しないと、大ホールの市民占有が増えるなど、運営面での課題が多い。
- カ 小ホールを整備しないことは、市民要望と大きくかけ離れるものである。

#### (4) 事業提案

- ア 提案の条件(要求水準)の作成が必要であるが、その作成に基本計画をベースで取り組めば、整備の遅れを最小限に抑えることが出来る。
- イ 民間事業者から前向きな意向が示されている。
- ウ 入札不調のリスクが無く、事業者が決まる。
- エ 設計料も含めて予算内で整備を行うことで、財政的な負担を抑えることが出来る。
- オ 実施設計にとらわれずに諸施設の配置や機能を検討することで、予算内で小ホールも含めた整備の可能性を探ることが出来る。
- カ 実施設計と比べて、デザインよりも機能を重視する施設を目指すことになる。

## 2 今後の方針

### 実施設計にとらわれない自由な発想による事業提案を軸に、整備の可能性を探っていく。

<理由>

方針については、「早期の整備を望む市民の意見」、「整備の確実性」、「財政的な負担」、「性能や質などの整備内容に対する市民要望の最大限の実現化」の4点を重視した。

延期は、市民意見、市民会館の現状、市民会館に多額の改修費を要すること等から選択することは出来ない。

設計見直しでは、予算内で整備することは不可能である。

分割工事は、早期整備の可能性はあるが、依然として入札不調のリスクがあり、後年、小ホールを整備すれば、さらに多額の建設費を要することになる。また、市民の利用率が高い小ホールを整備しないことは、市民要望と大きくかけ離れるものである。

事業提案は、提案の条件（要求水準）を作成する必要があるが、その作成に基本計画をベースに取り組めば、整備の遅れを最小限に抑えることが出来る。また、民間事業者から前向きな意向が示されており、入札不調のリスクも無い。さらに、設計料を含めて予算内で整備を行うことで、財政的な負担も一番少なくすることが出来るものである。実施設計に捉われずに諸施設の配置や機能を検討することで、小ホールを含めた整備を追求することが出来る。

入札不調の原因の一つが実施設計のデザインにあると指摘する声もあり、整備の確実性が高く、予算内で、基本計画をベースとした市民要望を最大限反映していくためには、実施設計にとらわれない自由な発想による事業提案を軸に今後も整備の可能性を探っていくことが、市民の皆様の期待に応えることである。